

# 令和4年度 白川郷学園 国語科研究構想

【研究主題】一人一人の学びが加速し、「先を読む力」を発揮する姿を目指して

## 国語科部が育てたい「ひとりだち」した人物像

言葉による見方・考え方を働かせ、考えを伝え合い、多様なものの見方や考え方にふれることを通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる人。

## 研究内容(1)9年間を見通した「先を読む力」の明確化

前期課程			後期課程
1・2年生	3・4年生	5・6年生	7・8・9年生
仲間と考えを伝え合い、多様なものの見方や考え方にふれ、自分の思いや考えをもつことができる。	仲間と考えを伝え合い、多様なものの見方や考え方にふれ、自分の思いや考えをまとめることができる。	仲間と考えを伝え合い、多様なものの見方や考え方にふれ、自分の思いや考えを広げることができる。	仲間と考えを伝え合い、多様なものの見方や考え方にふれ、自分の思いや考えを広げたり深めることができる。

## 研究内容(2)児童生徒の多面的な実態把握と手立ての明確化

【日常的な実態把握】	【客観的データの活用】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言やつぶやき</li> <li>・話し合い</li> <li>・学習ノートの記述</li> <li>・思考ツール(タブレット)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト、単元テスト</li> <li>・定期テスト、実力テスト</li> <li>・全国学力状況調査の結果の分析</li> <li>・作文、レポート、スピーチ、プレゼンテーション</li> </ul>

実態に適した児童生徒への手立ての明確化

## 研究内容(3)一人一人の学びが加速する学習活動の工夫

○学ぶ目的や必然を感じ、見通しをもって課題追究する導入の工夫	○試行錯誤を生み出す展開の工夫	○一人一人が学びを自覚し、自分でできた達成感を得られる終末の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・何ができたら課題を達成したといえるのかを一人一人が意識し、全員で共有できるようにする。</li> <li>・つきたい力を明確にした単元を貫く課題・学習計画を設定し、学習の必然性や目的意識をもてるようにする。</li> <li>・自分事としてやってみたいと思える言語活動や、考える必然性のある活動を位置づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がどのような見通しをもって学びを展開するのかを把握し、学び方における手立てを明確にする。</li> <li>・自分で自分の学びを展開するための学習方法の提示や学習形態を工夫する。</li> <li>・考えを伝え合う場を工夫し、対話を通してそれを広げたり、深めたりすることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のはじめとおわりの比較を通して、学びを実感できるようにする。</li> <li>・自分の学び方を振り返ることを通して、その学び方を他教科の学びや日常生活の取り組みへとつなげようとする意欲がもてるようにする。</li> </ul>